



石井 久子 氏



# 第37回 女性リーダー研修会

11月24日、第37回女性リーダー研修会が名古屋市長総合福祉会福祉会館において開催され、69名の女性リーダーが参加しました。

今回のテーマは、クラブ活動をまると楽しむためにです。開会のあいさつの後、「他人ごとから自分ごと」の演題で知多市の南粕谷ハウス事務局長の石井久子氏に講演をしていただきました。

## ◆講演要旨

他人ごとから自分ごと

南粕谷ハウス  
事務局長 石井久子氏

私は南粕谷で生まれ育ち、28年前、子ども会の会長とし



三浦 一光 氏

(1頁からの続き)  
休憩を挟んでM S M流通研究所名誉顧問三浦一光氏を講師に講演をしていただきました。

## ◆講演要旨

テイチクレコード再生物語  
〜変わらなくちゃ、  
変えなくちゃ〜

M S M流通研究所  
名誉顧問 三浦一光氏

私は松下電器産業(現在のパナソニック)を40年間勤め上げ、1996年、60歳の時にテイチクレコードへ事業再建を託されて送り込まれました。当時のテイチクレコードは長らくヒット曲に恵まれず業績は低迷していました。所属歌手の4番バッター(稼ぎ頭)は川中美幸でしたが、3番バッター(川中に続く稼ぎ頭)を育成する必要がありました。私がテイチクレコード社長に就任した1990年代後半の音楽業界は、年間に新曲が約1万7000曲リリースされる中、ミリオンセラーを記録するのは1〜3曲と大変な世界でありました。

当時、女性演歌歌手は妖艶な方が多い中、異色の天童よしみやテイチクレコード3番バッターとして従来と違う切り口で売り込みました。まず本人の写真を使わずポップな天童よしみキャラクターをイラストで表現し、「うち、歌が好きやねん。」のキャッチコピーで東京のJR山手線車内中吊り広告でPRしたところ、中高生のギャルたちから人気に火が着き始め、幸運や縁に恵まれ国民的人気を獲得しました。日本・韓国・中国3国共作となった「珍島物語」は、2年にわたる息の長いヒット曲となり、130万枚を売上げました。

また、在任中に思わぬヒットに恵まれたこともありました。大泉逸郎「孫」は、当初売れないだろうと考えて売れないことを前提にした販売戦略にしたところ、160万枚と演歌の単年度売上としては驚異的なミリオンセラーを記録しました。

その後、1999年に音楽業界を後にしましたが、音楽業界で私が実感して学んだことは、〇人との縁を大事に。自分は運がいいと考えることで運が寄ってくる。ことでした。運については松下電器産業時代、松下幸之助社長からよく聞いた教えでもありました。

①日曜大工 ②搬送(病院送

他にも地域の小学校や里山



を守るボランティア団体などと連携して①見守りパトロール②地域住民に向けた図書室の有効活用③里山整備などを進め、多世代を巻き込んで住みよい地域づくりに当たりました。

平成22年にコミュニティ(自治会)で「5年後・10年後の南粕谷」を議論した際、多世代交流の場として常設型交流サロンの設置が検討され、酒屋跡地のテナントに常設型サロン「南粕谷ハウス」をオープンしました。常設型にしたのは、週1日オープンにするが高齢者が通院日と重なってしまつた場合に間隔が空いてしまうからです。多世代交流を念頭にしていますので、地域のさまざまな方の協力のもと、サロン(喫茶)運営の他、多彩なイベントを催して楽しんでいきます。

